

バイデン米大統領就任



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2021年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

電子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報朝刊」秋田魁新報電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

コロナ最優先、国際協調へ

【ワシントン共同】昨年11月の米大統領選で勝利した民主党のジョー・バイデン氏(78)が20日

(日本時間21日未明)、首都ワシントンの連邦議会会議事堂で宣誓し、第46代大統領に就任した。バ



就任式で宣誓するバイデン米新大統領。右はジル夫人＝20日、ワシントンの連邦議会会議事堂(ロイター＝共同)

イデン氏は新型コロナウイルス対策に最優先で取り組み、国際協調路線に回帰してトランプ政権下で進んだ孤立からの脱却を図る。上院議員だったカマラ・ハリス氏(56)も就任宣誓して女性、黒人として初の副大統領となり、多様性を前面に打ち出す。

就任式は政権を譲る大統領が同席して国民融和を演出してきたが、共和党のトランプ大統領(74)は欠席し、南部フロリダ州の別荘へ。任期最終日の20日には、最側近だった Bannon 元首席戦略官ら73人に恩赦を与え、70人を減刑した。

バイデン氏はオバマ政

権で副大統領を務めたベテランで、米史上最高齢での大統領就任。世界最多の40万人を超える死者を出した新型コロナウイルス感染拡大を食い止め、経済を再建することが最優先課題だ。

外交面では中国に対し、覇権主義的な姿勢に批判的な国内世論を背景に強い姿勢で臨む方針。日本を含む同盟国との連携強化も急ぐ。「米国第一」主義が米国を孤立させたと批判しており、国際社会での指導的役割を取り戻す考え。就任初日の20日にも、地球温暖化対策の枠組み「パリ協定」への復帰手続きを取る。